

# 令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	ほくりく防災・減災考座2025	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	災害に対する安全・安心推進事業	分類名 (中項目)	防災意識醸成活動支援事業		事業区分	講座、セミナー、育成	

## 1. 事業目的

平成8年から活動を続ける「北陸地方防災エキスパート」では、平時の取り組みの一つとして、防災に対する意識の高揚とともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として開催する。

## 2. 事業実施体制

主 催:北陸地方防災エキスパート  
 協 賛:一般社団法人 北陸地域づくり協会  
 後 援:一般社団法人 建設コンサルタンツ協会北陸支部、  
 特定非営利活動法人 新潟県砂防ボランティア協会

## 3. 事業実施概要

- ◇日 時:令和7年7月30日(水) 15:00~17:15
- ◇会 場:アートホテル新潟駅前
- ◇プログラム:
  - ・講演1「地理空間情報を用いた能登半島地震の地盤災害の分析について」  
 講師:池田 隆明(長岡技術科学大学 環境社会基盤系 教授)  
 志賀 正崇(長岡技術科学大学 環境社会基盤系 助教)
  - ・講演2「土屋雷蔵伝一書かなかったここだけの話」  
 講師:橋本 啓子(ライター・エディター)
- ◇参加者:165名(うち、北陸地方防災エキスパート登録者47名)
- \* (一社)建設コンサルタンツ協会CPD認定プログラム

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北陸地方防災エキスパートの新規登録者を対象とした研修の一環として、広く一般にも開放している講演会で、地元紙で案内されたこともあり定員を超える多くの申し込みを得た。  
 今回は、令和6年能登半島地震を通じた海岸砂丘の液状化リスクに関する研究、そして道路除雪体制の進展や新潟バイパス構想をけん引した不世出の土木技術者についてお話しいただいた。自然災害が頻発し激甚化するなか、過去の災害から得た教訓を風化させることなく後世に伝え、今後の防災・減災に生かしていくことについて思いをめぐらす時宜を得たものとなった。



講演 1



講演 2

